

学校だより 希望の鐘

ひとつの鐘は、いどしかひらかな!



八戸市立
小中野中学校
平成31年1月17日(木)
No.142 文責: 校長
工藤聡

自らが「期待する」3学期にしてください!

新年明けましておめでとうございます。3学期のスタートにあたり、今年度最後の学期を迎えるみなさんに望むことについて話をします。

冬休みは、年末年始を通して比較的穏やかなものとなりました。みなさんも、いい冬休みを送ったのではないかと考えています。部活動や学習会等、いきいきと活動しているみなさんの様子が私の記憶に残っています。その中でも、一番印象深かったのが、1月8日に3年生が「カツカレー」を食べている表情でした。このカツカレーですが、受験結果はもちろんのこと、受験勉強の困難に打ち勝つという意味の、勝利を意味する「勝つカレー大会」と銘打っています。この名称になったのは、今から3年前だそうですが、それ以前もいろいろな形で3年生を励ます催しを保護者の方が企画して行ってくれていたようです。私も東中の学年主任を務めていた頃は、地域から臼と杵をお借りして、学習会最終日に餅つきを行っていました。昔の臼ですから、とても重くて、男性3名でやっと運んだという記憶があります。3年生は、カツカレーをどんな思いで食べたのかは想像するしかありませんが、ただいつもやってくれているからといって、それは当たり前のことではありません。ものすごくありがたいということに、気づいてもらいたいです。

話は少し変わりますが、正月元日は祝日になっています。その意味の一つは、昔、元日は国民全員が一斉に一歳年を取る日だったからです。今は、生まれた時はゼロ歳で、誕生日が来て初めて一歳になります。こういう年齢の数を満年齢と言います。昔は数え年と言って、生まれた瞬間に一歳、そして元日になると誕生日に関係なくみんなが一斉に歳を一つ取ったのです。そういった昔の考え方で言えば、小中野中生全員が元日を迎えたことで、一つ年齢を重ねたことになるのです。それであれば、みなさんも一つ年齢を重ねた年りの考え方をしなければならないのではないのでしょうか。

2学期終業式の式辞で、私は「待つことをおぼえる」冬休みにしてほしいとみなさんに話をしました。どうだったでしょうか。私はこの体型ですから、けっこう大雑把に見られがちですが、意外と神経質です。自分で言うのは恥ずかしいですが、よく言えば「繊細」ということになるのかもしれない。大学生時代に待ち合わせをした際には、待たせるのが嫌で、約束の時刻よりだいぶ早く行っていました。大切な人を守る時は、往來を行き交う人や雑踏の中の人々が、時々待っている人に見えてくることがありました。要するに、「待つ」ことは「期待する」ことではないかと思うのです。逆に考えると、「待たせる」ことは「期待させる」ことにもなるのかもしれない。「期待する」方が、「期待させる」よりも、何となく楽しいと感じるのは私だけではないと思います。みなさんは、どうしてもご家族や先生を待たせて（期待させて）いることが多いように感じます。それでも、みなさんの成長を信じて、ご家族や先生は待っているのです。

私は、みなさんに、日頃から謙虚な心で「感謝の気持ちを持ってください」と言っています。しかし、なかなかみなさんにとってピンとこないことであることもわかっています。ですから、この新年の新たな目標を定める時期に、今一度「感謝すること」を心に置いてもらいたいです。さきほど、「勝つカレー大会」のことを言いました。何と、20名以上の保護者の方が来て、準備や調理をしてくれていました。3年生に限らず、1・2年生も、ご家族のほか、様々な方々に本当に多くの場面でお世話になっているはず。そのことを、昔の風習ではありませんが、一つ歳を重ねたこの機会に改めて思い直してみたいと思います。

3学期は、学校では締めくくりの学期となります。一つ歳を重ねた感謝の気持ちで、そして待たせる（期待させる）だけでなく、自らが何かを待つ（期待する）くらいの気持ちで、それぞれのゴールに向かう3学期にしてほしいと思います。（3学期始業式の式辞を編集しました。）

チョコボールと銀のエンジェル

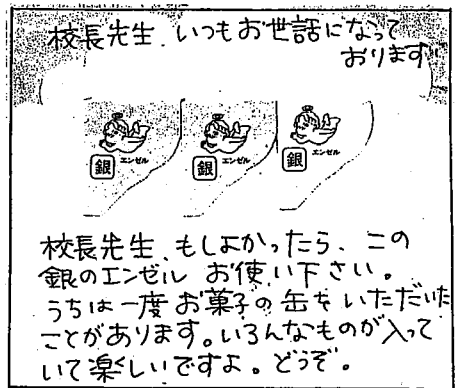
私の好きな食べ物のベスト3は、①バナナ ②コアラのマーチ ③カレーライス です。これは、何度か朝会等で言ったことがあるので、知っている人も多いと思います。第2位の「コアラのマーチ」には、それだけでなくいくつかの類似したお菓子が含まれるのですが、その一つが森永製菓のチョコボールです。お手頃な価格（70円くらい）と、昔の駄菓子を感じさせる懐かしいような美味しさもさることながら、何といても「アタリ」があるドキドキ感がたまらないのです。

チョコボールは、丸い形のチョコが出てくるところがクチバシで、そこに金や銀のエンジェルが描かれていると「アタリ」で、「おもちゃのカンヅメ」がもらえることはみなさんも知っていますね。金のエンジェルは1枚あれば、すぐに「おもちゃのカンヅメ」がもらえるのですが、銀のエンジェルは5枚集めないともらえないことになっています。森永製菓では、金と銀のエンジェルが当たる確率を公表していませんが、テレビのバラエティ番組で検証したところ、1000箱で金のエンジェルが2枚、銀のエンジェルが37枚だったということです。金は500箱で1枚、銀は27箱で1枚当たる確率になります。銀はそこそこ当たりますが、金はまず当たらないと考えてよいでしょう。

2学期最後の学校だよりで、私の机の引き出しから偶然2枚の銀のエンジェルが出てきたことを話題にしました。「ほしい人がいたらあげますよ」としたのですが、一人も来る生徒はいなくてガッカリしていました。しかし、一昨日の始業式の日、一人の生徒がお母さんからの右の手紙を持って来てくれました。銀のエンジェルが5枚たまったことよりも、保護者の方が学校だよりを読んでくれていて、私の書いた「くだらない」ことにも反応してくれたことが、とてもうれしかったのです。

教訓めいた話になって申し訳ないのですが、もしかすると、どこの家庭にも銀のエンジェルは1枚か2枚忘れられたようにあるのではないかと思います。5枚そろわないのであれば、極端な言い方になってしまいますが、ただのゴミのようなものです。でもそれが5枚集まることによって、「おもちゃのカンヅメ」という普通は販売されていない貴重な賞品（商品）に変化するわけです。一人一人ではどうにもならないことでも、何人かで協力することで、夢や希望、目標がかなえられるということにつながるのでしょうか。

生徒のお母さんにいただいた3枚と引き出しから出てきた2枚を合計して、さっそく送りました。「おもちゃのカンヅメ」が来るのは、約3週間後だそうです。楽しみです。



【今年最初のひとり言】

●1月8日の「勝つカレー大会」の時のことです。私がカレーライスが好きだということを知っている保護者の方が、大盛りのカツカレーを持って来てくれました。大盛り過ぎて、カレールーがご飯にかけきれないため、ルーは別盛りになった物です。もちろん、美味しくいただいたことは言うまでもありません。実は、その2日前から私はカレーを食べ続けていました。6日の夕食は、家族に頼んでカレーにしてもらいました。翌日（7日）の朝もカレーです。昼は、出張先に出掛ける前に、城下のとんかつ屋さんでカツカレーを食べました。その日の夕食と翌日（8日）の朝食も当然のようにカレーでした。そして「勝つカレー大盛り」につながったのです。その日の夕食もカレーを食べたので、6日夕食→7日朝食→7日昼食カツカレー→7日夕食→8日朝食→8日「勝つカレー」→8日夕食と7食連続して食べたことになります。もちろん、栄養学的にははなはだ問題がありますが、当然理由があります。「願をかける」と言って、願いごとが成就するように、自らに試練を課すことがあります。私も、みなさんが受験に向かって、本来の力が発揮されるよう願ってカレーを食べ続けたのですが、私の家族からは次のような厳しい指摘を受けました。「自分の好きな物を続けて食べたからって『願をかける』ことにはならないんじゃないの。お父さんの嫌いなシイタケを続けて食べたり、抹茶を飲むんだったら別だけど」。確かにそうですが、みなさんに私の気持ちは伝われば…と思います。（同じ物を続けて食べるということは、栄養の偏りも生じて、健康には決してプラスになりませんから、よい子のみなさんは絶対に真似をしないでください。）

●今日の私の似顔絵は、 年組の さんに描いてもらいました。ホクロの位置が絶妙です。さんの所属している男子バレーボール部ですが、1月9日と10日に行われた「八戸市新春バレーボール大会」で見事優勝を飾りました。これで、市中体秋季大会・霜月大会・南部町バレーボール大会に続く4冠達成となりました。驕らず（オゴル：地位や結果などを誇って、思い上がった振る舞いをする）、油断することなく、2月11日開催の選抜バレーボール大会を目指してください。